

Let's Smile and Say "Hello"

～ 笑顔でひと声かけよう ～

サンプラザ

第 6 9 号

平成28年10月10日発行

高脂血症薬（スタチン）について
副院長 山田 陽一

電子カルテ導入のお知らせ
医事係長 尾崎 大亮

看護部研究発表活動をご報告します

第15回 北海道病院学会参加

医療のげんば紹介【臨床工学科編】

ビールパーティー開催！

マラソン大会参加

消火・避難訓練実施

金博士の『本音で語ろう』"質問と応答"

総合診療科 金 有世

お知らせ「インフルエンザワクチン予防接種」

医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院

最近、週刊誌で、コレステロールを下げる薬であるスタチンについて、危ない薬であるなどと書かれ、話題となっています。コレステロールには、善玉コレステロールと悪玉コレステロールがあることはご存じかと思います。悪玉コレステロールが高い人が心筋梗塞になりやすいというのは、Framinghamスタディなどにより、半世紀も前から知られていた事実であり、従って、この悪玉コレステロールを下げれば心筋梗塞になるのを予防できるのではないか、という仮説が出来たのも、半世紀以上前になるわけです。

私が医師として仕事を始めた1986年頃は、高コレステロール血症と言えば食事運動療法が主体で、検診でコレステロールが高いと分かり病院を受診すると、パンフレットによる食事指導をして、半年後に再検査のために受診して頂くように説明していました。しかし、半年後にコレステロールが下がった方は、私自身の印象ではかなりの少数派でした。では当時の薬はというと、ほとんど値が下がらないか、副作用が出てしまい、継続して飲めない印象でした。

コレステロールを本当に下げられるようになったのは、スタチンが出てきてからで、これが効くのに驚きました。画期的な薬が出たと喜びましたが、ふと考えてみると、コレステロールを下げると本当に心筋梗塞になるのを予防できるかどうか、はっきりしたわけではありません。そこで、大規模臨床試験の登場です。心筋梗塞や狭心症を持つ患者さんで、スタチンを飲んでコレステロールを下げた人たちと、偽薬を飲んだ人たちで、心筋梗塞の発症率に差がどうかを調べたわけです。1994年に4SスタディがLancet誌に発表され、スタチンを飲んでコレステロールを下げた人の方が、

偽薬を飲んだ人たちに比べて、総死亡率、心筋梗塞の発症率が統計学的に有意に低かった、つまり簡単な話、スタチンを飲んだ方が長生きすることが証明されたわけです。その後、現在まで多くの大規模臨床試験が行われ、狭心症を持つ人や心筋梗塞後の患者さんでなくても、コレステロールが高い人にスタチンを服用させると効果があること、長期に服用しても安全なこと、悪玉コレステロールをものすごく下げても安全であること、などが示されてきました。また、2006年に日本人のみを対象としたMEGAスタディがLancet誌に発表され、スタチンが心筋梗塞や狭心症の発症を予防し、癌や脳出血の発症は増やさないことが報告されました。

それでも、理由をつけてスタチンの服用は危険と主張する方もいるわけです。結局、特にインターネットの発達により、大量の情報が世の中に溢れている状態の中では、どの情報を信じるかが問題になるわけです。私たちが患者さんを治療するにあたり、参考にするものの中にガイドラインがあります。これは、エキスパートな医師たちが集まり大規模臨床試験などを参考に、どういう治療が一般的であるかを示したものです。これがすべて正しいとは思いませんし、その通りに治療するわけでもありませんが、過去のガイドラインを振り返ってみると、確かにその時代の一般的な治療法と考えて間違っていないと思われ、私はおおむね採用するようにしています。

さて、皆さんはどの情報を信用あるいは採用しますか？ 週刊誌ですか？ かかりつけの医師ですか？





電子カルテ導入のお知らせ

医事係長 尾崎 大亮

当院では、平成28年9月20日より「電子カルテ」の運用を開始しております。

「電子カルテ」とは、これまで紙のカルテ（診療録）に記載されていた患者さまの診療情報を、コンピューターにて入力・管理を行うシステムのことです。

これにより、検査や採血、会計データなどの情報を各部署でリアルタイムに確認することができるため、医療の質が向上し、また、カルテの作成・運搬がないことから、お会計の待ち時間の短縮にもつながると考えております。

しかし、職員一同十分な準備をして運用を開始しましたが、電子カルテ導入後は、想定外のトラブルや職員のシステム操作の不慣れなどでお時間を要し、一時的に患者さまにご迷惑をおかけする可能性もございます。大変申し訳ありませんが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



看護部研究発表活動をご報告します

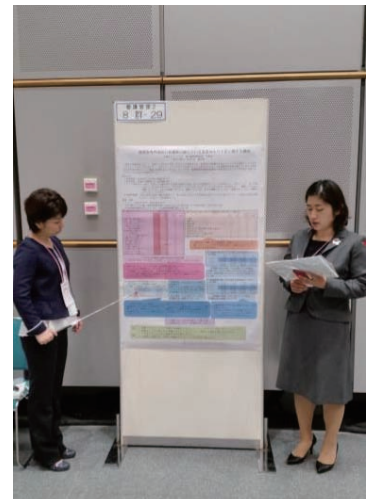
※ 北海道看護研究学会【6月26日(日) 札幌コンベンションセンター】

- 長谷川 真弓／松本 奈央／藤原 睦（手術室）
「循環器専門病院の看護師が感じている急変対応の不安に関する調査」
- 福井 園子／出張 ひとみ／大西 良子／山田 千春（3病棟）
「A病棟における高齢心不全患者の再入院に関する調査」
～ヨーロッパ心不全セルフケア行動尺度を用いて～

※ 北海道看護協会札幌第3支部 看護研究発表会

【7月16日(土) 新さっぽろアーキシティ】

- 遠藤 由佳（2病棟）
「入退院を繰り返す心不全患者への退院指導」
～退院後の日常生活を踏まえた指導～
- 林 友希（2病棟）
「心不全患者との関わりで大切なこと」
～重症心不全患者との関わりを振り返って～



第15回 北海道病院学会参加

7月16日（土）に、ホテルロイトン札幌にて開催されました「第15回北海道病院学会」におきまして、当院の職員3名（看護部2名・事務部1名）が演題発表を行いました。

看護部では、より良い看護を目指し、日頃より様々な取り組みを行っており、患者さんにアンケートをお願いするなど、日々検討・改善を続けています。また事務部では、当院を知っていただくため、さまざまな広報活動を行っています。

今回は、看護部・事務部ともにその成果について発表する機会に恵まれました。

今後も、患者さまに安心して診療を受けていただけるよう、職員一丸となって努力していきます。

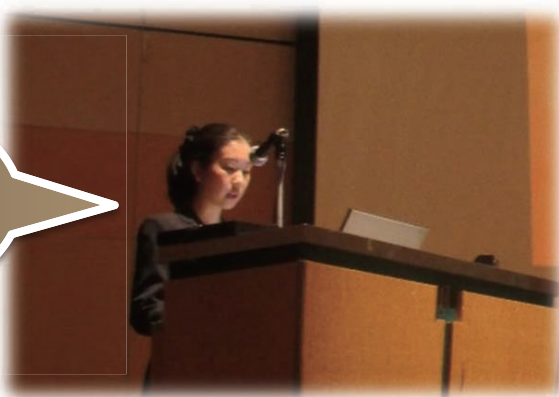


看護部透析室 山口 葵

「穿刺所要時間の実態調査」

看護部2病棟 中村 真希

「A病院における緊急PCI後の生活習慣是正への意識変化調査」
～指導前後のチェックシートを使用して～



事務部総務課 荒井 大輔

「睡眠時無呼吸症候群の患者獲得へ向けた活動の報告」
～総務課として患者獲得のためにできること～



医療のげんば紹介

【臨床工学科編】

前号から開始しました「医療のげんば紹介」。
第2回目は「臨床工学科」の臨床工学技士の業務をご紹介します。

Q：「臨床工学技士」とは、主にどのような仕事ですか？

A：医師の指示を受け、各部署の医療技術者とチームを組んで、手術室や透析室などで、様々な生命維持管理装置の操作や、それらの機器の保守点検を行なっています。一般的に「CE (Clinical Engineer)」または「ME (Medical Engineer)」とよばれています。

Q：病院における臨床工学技士の役割とは？

A：現在、臨床現場は多くの医療機器に支えられており、また、それら医療機器の性能は年々高度になり、複雑化しています。そのような状況の中で、臨床工学技士の大切な役割は、医療機器を確実に操作し、患者さまの安全な治療を確保出来るよう、日々の業務に取り組むことです。

＜臨床工学技士よりみなさまへ＞

当院の臨床工学技士は、様々な業務に携わっております。

人工心肺・心臓血管カテーテル・血液浄化・ペースメーカー・呼吸治療業務など多岐にわたっており、手術室や集中治療室・透析室など、院内のあらゆる場所で業務を行っております。

業務内容や医療機器のことなど、ご質問等がありましたら、お気軽にお声掛けください。



ビールパーティー開催！



夏といえば、冷たいビール！！

今年も夏の恒例行事「ビールパーティー」を、7月29日（金）にニューオータニイン札幌のダイニング&カフェ「ランデブーラウンジ」にて開催いたしました。

この日の最高気温は26.5度。昼過ぎまで雨が降っていた影響で、非常に蒸し暑いなか、医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務・警備と、各部署より17名が参加しました。

暑さと日頃の疲れを吹き飛ばすように、みな大いに語らい、盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

通常業務ではなかなか接することがない他部署との交流も深まり、職員一致団結、暑い夏を乗り切ることが出来ました。

これからも職員一同、患者さまのために、ますます元気に、業務に取り組んでいきます。



マラソン大会参加

☆ 7月3日（日）北ガスグループ 6時間リレーマラソン

（42.195km リレーマラソン 男子・女子混成）
タイム／3:09:34 順位／65位（697チーム中）
メンバー

清水・尾崎・宮本・宮田・澤田・細谷・高田・中村・渡邊



☆ 8月28日（日）第30回記念 北海道マラソン2016

清水 栄一	タイム／ 2:55:57	順位／ 350位（10,604人中）
山田 陽一	タイム／ 3:25:15	順位／ 1,427位（10,604人中）
神吉 和重	タイム／ 3:32:46	順位／ 1,849位（10,604人中）
細谷 好美	タイム／ 4:03:39	順位／ 552位（1,987人中）

消火・避難訓練実施



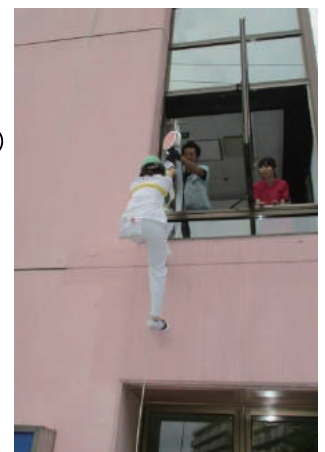
9月2日（金）15時より、職員25名が参加し、消火・避難訓練を実施しました。

今回の訓練は、地震や火事、台風などの災害発生時に、迅速かつ安全に患者さんを避難させることができるよう、実際に消火器と緩降機（オリロー）を使用して訓練をおこないました。



参加者全員で消火器と緩降機（オリロー）の使い方の説明を受けたあと、代表者数名が、訓練に取り組みました。

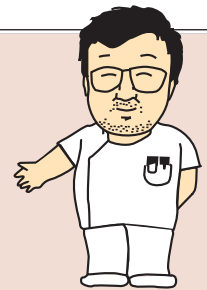
これまで以上に防災意識を高め、災害発生時に対する心構えを確認することができた良い訓練となりました。



金博士の

『本音で語ろう』⑥7

“質問と応答”



患者として、少しでも気になることがあったら、医者に質問した方が良いです。自分のことでなくとも、家族の健康状態で気になることが生じたら、かかりつけの医師に相談してみることで、医師は、できるだけの応答をしてくれます。

なぜなら、相談を受けた医師は患者さんから信頼されている自分を感じ取り、できるだけ役に立ってあげようとするからです。安心して医者に問いかけてみて下さい。

一方、健康状態が気になる友人や知り合いの場合は、あらかじめ医師に話しておき、後日でも本人または家族に来てもらうか、一緒に連れて来られるのが最も良い方法です。と云うのは、本人や家族が、医者に相談することに同意していることが分かるからです。

診る医師が自分の専門外の相談と判断したときでも、その領域にふさわしい医師や医療機関に誘導してくれます。御安心下さい。

総合診療科 金 有世

お知らせ

「インフルエンザワクチン予防接種」

10月20日（木）より、インフルエンザワクチン予防接種を実施いたします。
以前のインフルエンザワクチンは、A型2種類とB型1種類に有効でしたが、
平成27年度からは、A型2種類とB型2種類に効果があるものに改良されました。
ご希望の方は当日、受付にお申し出下さい。
なお、在庫がなくなり次第、終了とさせていただきますのでご了承下さい。

- 【対象】 高校生以上のすべての方（予約不要）
- 【期間】 10月20日（木）～ 1月31日（火）
- 【料金】 1回 3,000円（税込）

<札幌市在住の65歳以上の方など>

1回 1,400円（税込） 12月29日（木）迄

※1月中の接種は1回3,000円（税込）となります。



外来担当医診療予定表 (平成28年10月10日現在)

	月			火		水			木		金			土		
午前	予約制	予約制		予約制	予約制		予約制	予約制		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	医師交代制	総合診療 金
	佐々木	山田	清水	佐々木	馬場	金	出張医 北大納谷	大坪	清水	馬場	大坪	佐々木	神吉	山田		
午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制		出張医		出張医	予約制	予約制		予約制	出張医		
	神吉	馬場	藤井	佐々木	大坪		北大納谷	馬場	消化器科	佐々木	山田		藤井	清水		

診療受付時間

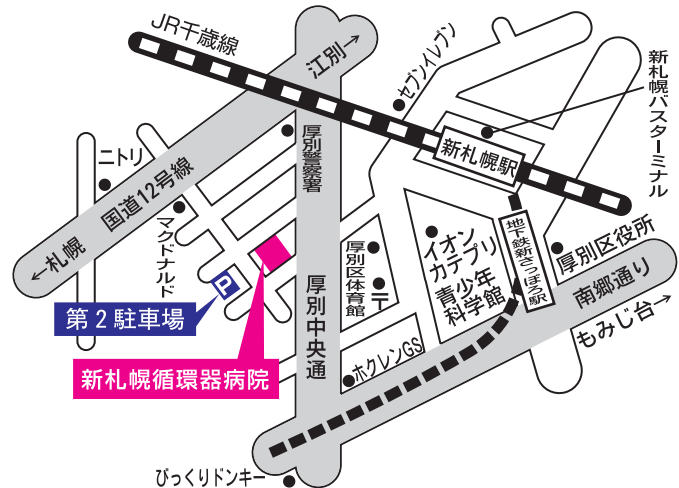
平日	午前	9:00 ~ 12:00
	午後	1:30 ~ 4:30
土曜日	午前	9:00 ~ 12:00

- * 新患受付時間 午前 9:00~11:00
午後 1:30~3:30
- * 土曜日は午前からのみの診療となります。
- * 循環器救急のお問い合わせは24時間対応しています。

診療科目

- 心臓血管外科 人工透析内科
- 循環器内科 胸部外科
- 腎臓内科 リハビリテーション科

病院案内



■ 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9番25号
TEL 011-892-1556

■ 地下鉄 (5番出口) ・ JR ・ バスターミナルより徒歩5分

■ 面会時間 平日 午後 2:00 ~ 午後 8:00 / 土日祝 午前 11:00 ~ 午後 8:00



お車で
ご来院の
患者様へ

病院横駐車場 (18台) / 第2駐車場 (18台)

コナミスポーツ立体駐車場につきましては、割引 (無料) 利用はできませんのでご注意ください。

■ ホームページ随時更新しております。ぜひ、御覧ください。 <http://www.sshoc.jp>

編集・発行/医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院 広報委員会 責任者/馬場 政美 顧問/金 有世